

秋田の土地改良

2013、4
VOL.476
第476号平成25年4月25日

新年度に向けて

高員会長あいさつ

水土里ネット秋田

新役員の紹介

秋田県関係機関の人事異動

新任挨拶 (県農地整備課長、県農山村振興課長)

秋田県の土地改良関係課職員配置

平成25年度事務局機構 (水土里ネット秋田)

新任職員の紹介

農業水利施設内の「ゴミ」問題

農業用ため池現況調査について

平成25年度土地改良事業振興基金制度

会員だより

地域からの情報発信 (水土里レポーター・小松昌之)

特集

我が水土里ネット (水土里ネット湯沢中央・高山陽二郎)

「随想」(水土里ネットかづの・根本由紀子)

連合会日誌

「あきた体験農園」平成25年度会員募集



ごあいさつ

秋田県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット秋田)

会長 高 貝 久 遠

春光うららか、郷の小川も水ぬるむ陽気となりましたが、会員の皆様におかれましては、ご健勝にて新年度をお迎えのことと存じます。日頃より、農業農村整備の事業推進並びに本会の業務運営に、特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、農業農村を取り巻く情勢は、農業者の高齢化、担い手の減少などの構造的な課題に加え、国際的には、世界の人口増加に伴う食料需給の増大や、世界最大の食糧輸出国であるアメリカ中西部の干魃被害などによる穀物価格の急騰や燃油価格の高騰など、大変厳しい状況が続いております。

さらに、TPP問題に関しましても、農業分野に大きな影響を及ぼす問題として横たわっております。安倍首相は、「あらゆる努力で日本の農を守り、食を守ることを約束する」としており、農産品等、例外措置の設定に活路を開かれておられますが、今後の趨勢を注意深く見続ける必要があります。

一方、安倍首相は、若者たちが未来に「希望」をもてる「強い農業」を創るため「攻めの農業政策」を展開することとして、「農業農村整備事業の復元」、「経営所得安定対策の堅持」、「農産物の輸出拡大対策・多角経営化」の3項目を重点化しております。

このことは予算面にも反映され、先の政権与党によって大幅に削減されて以来、低迷し続けた農業農村整備事業関係予算は、以前の水準まで回復する見込となっております。また、県の関係予算におきましても、これら国予算の動向や新規制度を背景とした十分なご配慮があり、既に執行されております。

このように、農業・農村にとりましては、明るい兆しが見え始めております。今こそ、「国土強靱化」の旗の下、我々水土里ネットは事業推進母体として、「農業競争力強化基盤整備事業」を始めとする、農業農村整備事業を大きく加速させ、強固な生産基盤をつくり、若者に将来を託せる、新たな地域営農を切り開いていく必要があります。

本会と致しましては、皆様からの、ご理解とご協力を頂きながら、独自の要請活動はもとより、全国の土地改良団体と共に、新年度予算の早期成立や、来年度以降の当初予算においても、予算復活が実感できる規模となるよう、政府・与党に働きかける行動を継続して参ります。

さらに、国、県の施策に対応しながら、各種事業の円滑な推進に尽力することはもとより、食料自給力向上に資する農地整備の推進、会員の事務合理化への支援など、新たなニーズに応えるとともに、更なる技術力の向上に努め、豊かで活力ある農村の創造に向け、役職員一丸となって邁進してゆく所存であります。

加えまして、先般の総会で、ご承認頂きました本会の今年度予算は、国、県の関係予算の回復動向を踏まえたものとなっております。この機を本会運営基盤の復興の時期と捉まえ、役職員一丸となって、健全なる運営基盤のもと、更なる会員サービスの向上が図れるよう、組織のスリム化や事務経費の削減に努めて参りますので、今後も、これまで同様、皆様方のご支援の程、よろしくお願い致します。

結びに、皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念を申し上げ、年度初めに当たってのご挨拶とさせていただきます。

水土里ネット秋田 新役員の紹介

平成25年4月22日現在

第55回通常総会で選任

任期：平成25年4月1日～平成29年3月31日



◆会 長

高 貝 久 遠

◎秋田県田沢疏水土地改良区
理事長



◆副会長

正 木 正 一

◎大内土地改良区
理事長



◆副会長

畠 山 清 俊

◎比内町土地改良区
理事長



◆専務理事

清 野 弘 久

◎員外(学識経験者)



◆常務理事

水 戸 憲 光

◎員外(学識経験者)



◆理 事

長谷部 誠

◎由利本荘市長



◆理 事

田 中 長

◎琴丘土地改良区
理事長



◆理 事

小 畑 元

◎大館市長



◆理 事

田 口 信 一

◎かづの土地改良区
理事長



◆理 事

大 坂 芳 市

◎雄勝郡山田五ヶ村堰
土地改良区理事長



◆理 事

柴 田 康 二 郎

◎秋田県雄物川筋土地
改良区理事長



◆理 事

松 田 知 己

◎美郷町長



◆総括監事

藤 井 弘 道

◎秋田県南旭川水系
土地改良区理事長



◆監 事

小 川 善 信

◎能代南土地改良区
理事長



◆監 事

鈴 木 清

◎男鹿東部土地改良区
理事長

水土里ネット秋田 新常勤役員を紹介

3月15日の第55回通常総会で役員改選が行われ、新たに本会の専務理事(常勤役員)として、清野弘久氏(学識経験者)が就任されましたので紹介いたします。

専務理事 せい の ひろ ひさ
清 野 弘 久

■経歴

昭和49年3月 東京農業大学卒
昭和49年4月 秋田県庁採用
平成21年5月 県農林水産部農地整備課長
平成22年4月 県農林水産部次長
平成24年3月 秋田県庁退職



■生年月日(血液型)

昭和26年6月28日(A型)

〔ごあいさつ〕

会員の皆様には、日頃から農業農村整備事業の推進はもとより、本会の業務運営につきまして、特段のご理解、ご協力を頂いておりますことに厚くお礼を申し上げます。

私こと、土地改良技術職として秋田県に38年間勤務し、昨年退職いたしましたが、この度、ご縁がありまして、第55回通常総会において員外理事として選出され、その後の互選会で専務理事に選任となり、過日着任いたしました。

本会並びに会員各位の発展のため、微力ではありますが全力を尽くして参りますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

全国水土里ネット

第55回通常総会

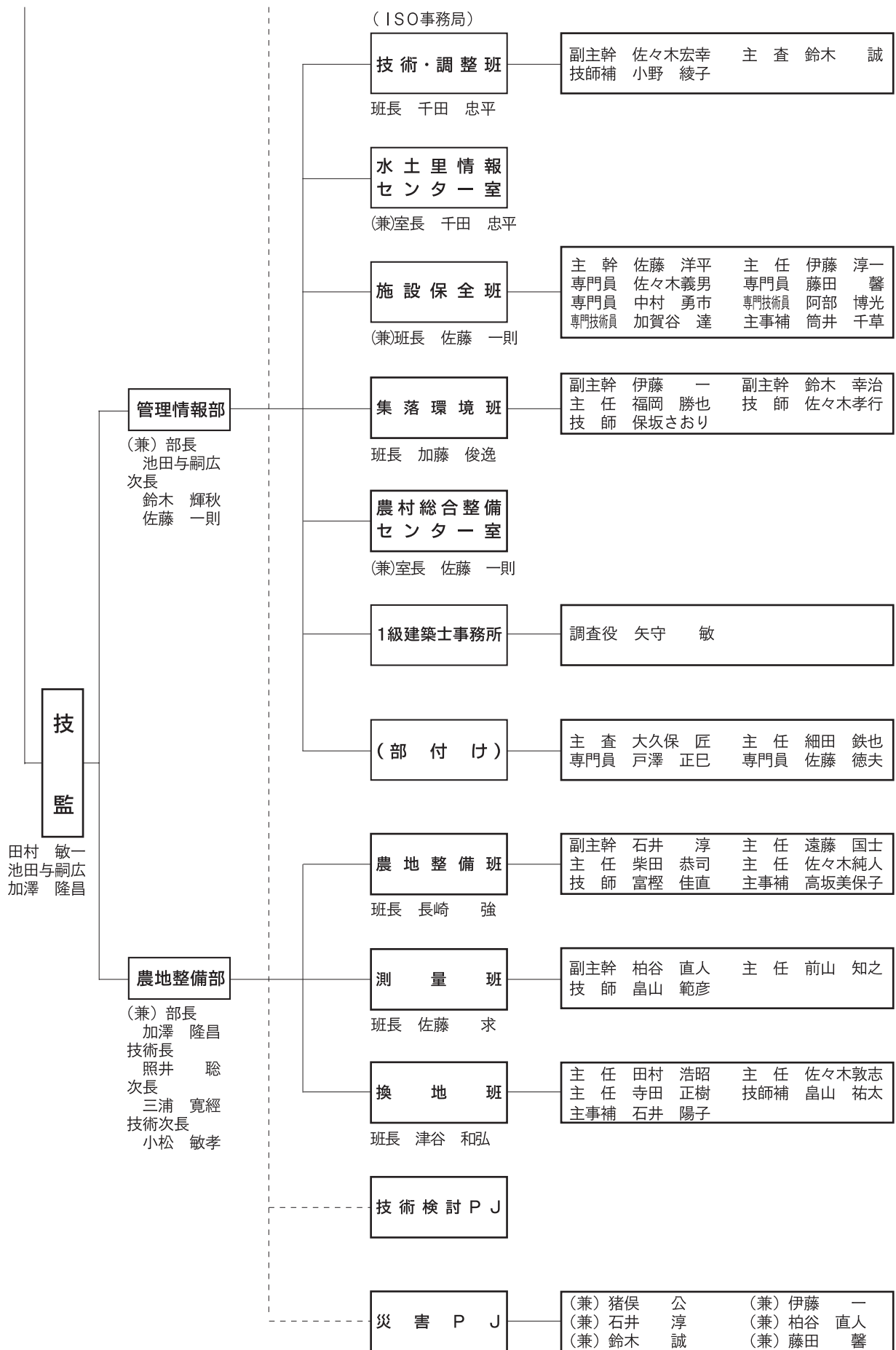
■平成25年度事業計画等を審議

3月26日、都市センターホテル(東京都)で、各都道府県水土里ネットの関係者が出席して、全国土地改良事業団体連合会第55回通常総会が開催された。

総会は、提出議案の平成24年度事業中間報告、同収入支出補正予算、平成25年度事業計画、同収入支出予算などの審議が行われ、いずれも原案どおり、承認・議決された。

■平成25年度事業計画〔重点項目〕

- ①食料自給力向上に資する農地の確保と高度化の推進
- ②継続的な農業生産の礎となる土地改良施設の計画的な更新整備の推進
- ③土地改良施設の適正な維持管理体制の充実強化と多様な主体の参画促進
- ④水土里ネットの時代に応じた役割と使命の在り方の検討
- ⑤食料基盤確保と農村地域資源の保全等に係る国民合意に向けた広報活動の推進



—— 水土里ネット秋田 新任職員の紹介 ——

4月1日付の人事異動で、本会に新たに9名が新規採用となりましたので紹介します。

【 1. 所属・役職 2. 前職(出身校) 3. 主な資格 4. 抱負(自己PR) 】



た むら とし かず
田 村 敏 一

1. 技監(総括)
2. 秋田県仙北地域振興局農林部次長
3. 1級土木施工管理技師

4. 長い公務員生活最後の歳ではありますが、土地連に派遣させて頂き、喜んでおります。長く携わった土地改良の仕事の集大成という事でこの1年間頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



さい とう しょう
齊 藤 翔

1. 総務企画部総務班 主事
2. 日本大学経済学部
3. —

4. 本会の一員として、農業を通じ、地域の人々がここ秋田に暮らす意味を感じ、豊かさを実感できる手助けが出来ればと考えています。皆様のご指導をよろしくお願い致します。



てら やま か な
寺 山 佳 奈

1. 総務企画部広報・渉外班 主事
2. 弘前大学教育学部
3. 中学校・高等学校理科教諭1種免許

4. 水の美味しい町・六郷出身の寺山です。秋田の水や農業に関わる仕事が出来て幸せです。少しでも早く皆さんのお役に立てるように日々精進して頑張ります。



ほ さか さおり
保 坂 さおり

1. 管理情報部集落環境班 技師
2. 秋田大学大学院工学資源学研究科
3. 測量士補(申請中)

4. 学生時代に学んだ土木工学を生かして、日々業務に邁進していきたいと思っております。至らない部分も多いとは思いますが、宜しくお願い致します。



なかむら ゆういち
中村 勇市

1. 管理情報部施設保全班 専門員
2. 秋田県庁
3. 測量士補

4. 適正化事業等は未経験の業務ですが、地域の要望に応えられるよう努力して参りたいと思います。皆様のご指導よろしくお願ひいたします。

趣味：クサレタマグラ山歩き



かわ しり しげ はる
川尻 茂春

1. 総務企画部 専門員
2. 秋田県庁
3. 測量士補

4. 農地・水・環境保全向上対策地域協議会、活動組織支援業務の適切な事務処理に努めたいので皆様のご指導、ご協力を宜しくお願ひ致します。



さ とう のり お
佐藤 徳夫

1. 管理情報部 専門員
2. 管理情報部技術補助員
3. —

4. 業務遂行の為、日々研鑽に努め、邁進して参りたいと思います。皆様のご指導及び叱咤激励の程、よろしくお願ひ致します。



はたけ やま ゆう た
畠山 祐太

1. 農地整備部換地班 技師補
2. 東京農業大学地域環境科学部
3. 測量士補

4. 皆様にご迷惑のないように、活発に行動し、日々精進致します。皆様ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。



たか はし よし ぞう
高橋 良三

1. 総務企画部南事務所換地班 専門員(再雇用)
2. 農地整備部次長(兼)南事務所換地班長
3. 測量士、換地士

4. 職業柄、人間力が問われる重要な職種です。これまで培った経験を生かし、若手への対応術を指導します。また、換地士取得へのサポートを致します。

特集

農業水利施設内の「ゴミ」問題

シリーズ⑬

平成25年度も農業水利施設内の「ゴミ」問題に取り組みます。



1. AKT秋田テレビが、現地からリポート

AKT秋田テレビが、大仙市神宮寺松倉堰土地改良区が管理する北檜岡地区布田分水から、現地リポートを予定しております。

2. テレビコマーシャル

■水土里ネット秋田では、広く県民に情報を発信するため、AKT秋田テレビでコマーシャル(スポット)を放送いたします。

放送期間：平成25年5月1日(水)～5月7日(火)

① 1日 ノンストップ!	9時50分	⋮	⑤ 4日 サタデーセレクション	12時00分
② 2日 ノンストップ!	9時50分	⋮	⑥ 6日 スーパーニュース	16時50分
③ 3日 スーパーニュース	16時50分	⋮	⑦ 7日 カスベ!	18時54分
④ 4日 めざましどようび	6時00分	⋮		

3. 水土里ネット広報誌情報から

■各水土里ネットでは、「ゴミゼロ」運動について広報誌で情報発信し、私達と同じ取り組みをしていただいております。

今回は、以下の水土里ネットをご紹介します。

【水土里ネット稲川】…雄勝管内

ダメ! ゴミの不法投棄 《子供たちが見えますよ!》

ゴミの不法投棄は犯罪です。ゴミ処理には多額の費用が掛かり、大切な賦課金が使われています。また、最近犬のフンを水路に捨てる方がいます。農業用水は「安全・安心でおいしいお米」につながります。ゴミの不法投棄は絶対にやめましょう。

【水土里ネットうご】…雄勝管内

水路へのゴミの不法投棄は絶対やめよう!

水路へのゴミの投棄は重大な違法行為です。農業用水路へのゴミは下流への通水の妨げとなり、これを撤去処理する費用は大切な賦課金が使われます。絶対にゴミを捨てないようにご協力願います。

また、刈り取った草は水路に流さないようにお願いします。農業用排水路の「水」は「食の安全」に大きく関係し、農業者や地元住民とともに、「人為的なゴミ投棄のない綺麗な水」で農産物を育てることへの感心を高めていきます。

『水土里ネット秋田からの提案』

各水土里ネットで「水土里の日」を決めて、役職員自ら「ゴミ」処理を行ってみませんか。

農業用ため池現況調査について(お願い)**秋田地区震災対策農業水利施設整備事業(農業用ため池現況調査業務)**

▲杉沢2号ため池(北秋田市)

本会では、このたび秋田県からの委託により、震災対策農業水利施設整備事業で実施する、農業用ため池現況調査を行うこととなりました。

本調査は、県内の農業用ため池(かんがい受益面積2ha以上)1,900箇所を対象に、施設諸元・漏水・クラック・変形・変状・改修履歴及び周辺状況等の一斉点検を行うこととしております。

この結果をもとに、ため池の整備が必要な優先順位を判定し、危険ため池を整理することで、今後のため池改修整備計画に反映させることを目的としております。

調査は、本会職員並びに本会に協力していただける民間会社の調査員が、満水時期間並びに落水後(4月～12月予定)にかけて、2回程度行うこととしており、ため池を管理している関係者と、十分連携を図りながら進めてまいりますので、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

ため池の役割

全国に約21万あるため池の多くは長い歴史を有し、農業用水の水源として農業の礎を担うとともに、地域文化にも深く関わり、周辺の農地や里山と一体となって多様な生物の生育・生息の場となっています。

また、豊かな自然環境とのふれあい・安らぎの場、更には、環境教育の場など、多様な役割も発揮出来る場であり、地域振興の核となる可能性を秘めています。

他方、農業者の減少・高齢化に伴い、従来のようなため池の維持管理が難しくなり、防災面での脆弱化や多様な役割の発揮が困難になることも懸念されています。先の東日本大震災では、福島県藤沼ダム(ため池)が地震により決壊し、死者7名、行方不明者1名、全壊家屋19棟、床下床上浸水家屋が55棟、田畑の土砂が大量に流出するなど痛ましい事故が発生しました。ため池の定期的な保全管理が、減災・防災の観点からも重要となってきております。

このようなことから、ため池の有する多様な役割と保全の必要性について、広く国民の皆様からご理解とご協力を頂くための広報活動として、ため池フォーラムの開催やため池百選などの催し物が、全国規模で、毎年、実施されております。

【問い合わせ】秋田県土地改良事業団体連合会 管理情報部

担当：鈴木(輝)、佐藤(一)、千田 TEL.018-888-2724

平成25年度土地改良事業振興基金制度のご活用を!

土地改良事業振興基金制度は、補助金・公庫資金・賦課金等の受領までに一時的に必要となる「つなぎ資金」を、低利かつ速やかに融資することを目的としており、平成25年度は以下のとおりとなりますのでご活用下さい。

〔債務保証限度、期間及び負担利子計画〕

資金別	保証限度	保証期間	借入利率	利子補給率		借入 団体負担
				借入10,000 千円迄	借入10,000千円 を超えた部分	
災害応急資金	出資金額の 10倍	12ヵ月以内	1.925%	1.400%	0.700%	利子補給 以外を負担
補助金	出資金額の 30倍	6ヵ月以内	1.925%	1.400%	0.700%	
農林漁業資金	出資金額の 30倍	3ヵ月以内	1.925%	—	—	1.925%
災 0.40~1.30%資金						
非 1.30%資金						
団 1.30%資金						
県 1.45%資金						
団体運営資金 (賦課金)	出資金額の 10倍	8ヵ月以内	1.925%	1.400%	0.700%	利子補給 以外を負担

注) 10,000千円迄の借入は、借入団体0.525%の負担

【取扱金融機関】北都銀行本店

【申込窓口】総務企画部広報・渉外班 TEL.018-888-2742

会員だより

新理事長就任のお知らせ

次の方々新たに理事長に就任されました。

- 大仙市中仙南土地改良区(H25.3.10)
理事長 岩田 長市
- 大森土地改良区(H25.3.26)
理事長 佐々木 友孝
- 馬場目川水系土地改良区(H25.3.30)
理事長 宮川 東典
- 大仙市協和小種土地改良区(H25.4.1)
理事長 加藤 末道
- 雄和土地改良区(H25.4.7)
理事長 工藤 久幸
- 小坂町土地改良区(H25.4.11)
理事長 小館 康弘

○秋田市旭川筋土地改良区(H25.4.18)

理事長 加賀屋 金雄

○合川町土地改良区(H25.4.18)

理事長 鈴木 勲

支部長職務代理者のお知らせ

- 秋田県土地改良事業団体連合会秋田支部
前支部長 佐藤 國夫(H25.4.17退任)
支部長職務代理者 鈴木 清(H25.4.18就任)

事務所移転のお知らせ

- 男鹿市若美土地改良区(H25.4.23)
新所在地 〒010-0422
男鹿市角間崎字家ノ下462番地3
(旧男鹿市商工会若美支所事務所)
電話 0185-46-3553 FAX 0185-46-3513

特集

地域からの
情報発信

大自然と思いっきり遊ぼう

～四季咲き誇る大仙市太田～

水土里レポーター 小松 昌之
(秋田県仙北平野東部土地改良区事務長)

ここ大仙市太田地域は奥羽山脈の裾野に位置しており、大台山からは仙北平野を見渡すことが出来ます。冬はスキー、これからのシーズンはパラグライダー、更に、その眺望を満喫出来るでしょう。

真木真昼県立自然公園にある薬師岳(1,218m)を主峰とする連山は、悠久より続く原風景に豊富な高山植物や動物、鳥類が生息する秘境として登山愛好者に愛されています。北は和賀岳、白岩岳に、南は甲山、真昼岳へとそれぞれ縦走コースがあり、7月中旬にはニッコウキスゲやイブキトラノオなどの高山植物が咲き乱れます。他にも真木溪谷は谷の深さが最大100mもある荒々しいV字溪谷であり、大倉岩の大岩壁は絶好のロッククライミングの場として知られています。



▲ニッコウキスゲ



▲川口溪谷(桑原の滝)

川口溪谷には二又の景や猿倉

の滝、幹周り12.4m、樹齢1,000年以上といわれているオブ山の杉、上流部には白糸の滝や桑原の滝など見所もたくさんあります。

太田スポーツパークの中心に位置する「横沢公園」では4月下旬から65種、26,000株のスイセンが見頃を迎え、その後も菖蒲やアジサイなどがその目を楽しませてくれます。また8月下旬から9月上旬にかけて、小中学校や各集落、そして個人宅でも花だんを美しい花々で彩った「花だんフェア」が開催されており、その自慢の花だんをめぐる「お花見バス」も運行されています。

「太田ふれあいの里」には全国屈指の広さを持つグランド・ゴルフ場があり、全国大会開催地としても有名で、他にもバーベキューハウスや動物ふれあい広場、温泉宿泊施設もあり市民の憩いの場となっています。

大曲仙北職員会でも、交流イベントとしてグランド・ゴルフ大会を開催しております。2月には同会場で「太田の火まつり」も開催され、「紙風船上げ」や1年の豊作祈願の「雪中田植え」、それぞれの祈願成就を願い「天筆焼」が行われます。

四季折々の草花に目を向け、水のせせらぎや鳥の声に耳を傾け、ここ大仙市太田の自然の中に身体を投じてみませんか。

(写真提供:大仙市)

※詳しくは大仙市のホームページをご覧ください。



▲天筆焼

特



集



我が水土里ネット

シリーズ①

湯沢市中央土地改良区
事務局長 高山 陽二郎

我が水土里ネット湯沢中央は、平成13年に3土地改良区(湯沢市南部、湯沢市、湯沢市幡野弁天)の統合、平成21年に2土地改良区(湯沢市中央、秋田県雄勝町)の統合により、現在の湯沢市中央土地改良区(関係面積1,641ha、組合員1,927人)として、新たに生まれ変わっております。

統合の際に、主な検討事項とされた経常賦課金は、合併後の試算表に基づき、初年度から均一化を図り、維持管理賦課金におきましても、それぞれの統合で5～6年目に均一化を図ることができており、真の土地改良区合併を果たし、それぞれの賦課金の軽減に努めることができております。

この事につきましては、組合員の負担軽減を考える役員の方々の英断と、今後の土地改良区の姿を考える時、職員の充実を図り色々な事務受託料を活用した運営も取り入れていく事が必要であり、職員についてはどのような事務受託にも応えられるような教育訓練が求められ、日々努力している所であります。

事業については、各水土里ネット同様、施設の長寿命化対策に努めていますが、特に、平成22年度には国土交通省による湯沢、幡野頭首工の統合による湯沢統合堰が完成しました。この完成によって静水池より両地区への配水が良くなり、一昨年と昨年の干ばつ対策での通し水で威力を発揮しました。

TPP交渉等今後の農業情勢を考える時、土地改良区は更なる基盤の強化が必要になるものと思いますので、湯沢市1本の水土里ネットを検討する時期ではないかと思っています。



▲土地改良区事務室(職員6名体制)



▲湯沢統合堰

特集

随想

シリーズ①

Turning point

水土里ネットかつの 根本 由紀子

土地改良区に就職して14年目。当初は、パート職員として働いておりました。

その時既に「男女共同参画社会基本法」が施行されていましたが、農業は男社会なのだと強く感じる事が多々ありました。農家の方が来所しても、まず最初に出る言葉が「今日は誰もいねえのが?」「おめだば話わかんねべ!」など、要件も言わず帰って行くことが当たり前で、男女平等、或いは人権の尊重等あり得ない世界なんだと。仕事も、与えられたものだけこなせば良い日々でした。

平成15年4月に鹿角市6土地改良区が合併した後、正職員となり、私の人生が一変しました。「明日から工事担当」の辞令を受け、当時、何も分からない私に務まる訳もなく、上部関係機関との打合せや、問い合わせがあっても専門用語が呪文のように聞こえ、メモをとるのも大仕事でした。ここから逃げ出したいと悩んだ時期もありましたが、当時の上司に「仕事は覚えた者の勝ちだ。男も女もない!泣いて仕事をして、笑って仕事をして、同じ仕事なら笑って仕事をしろ!」と言われ、負けず嫌いで男勝りの私にやる気を出させてくれた言葉です。

厳しい上司に3年間みっちり鍛えて頂き、立派に成長しました!とはまだまだ言えませんが、これからは組合員のため、地域農業の振興のため取り組み、忙しくても仕事は楽しくをモットーに気の合う仲間と毎日笑いながら仕事しています。



《写真：21創造運動》 水土里ネット鹿角支部 出前授業（講師：根本由紀子）

連 合 会 日 誌

4月15日	第5回北秋田市土地改良区統合整備研究会	北秋田市
4月15日	秋田県農業再生協議会通常総会	秋田市
4月17日	秋田県土地改良事業団体連合会平鹿支部全体会	横手市
4月19日	秋田県土地改良事業団体職員会秋田支部平成25年度通常総会	秋田市
4月22日	平成25年度第1回監事会	本会「第3会議室」
4月22日	平成25年度第1回理事会	本会「第1会議室」
4月25日	秋田県土地改良事業団体連合会第9回大館・北秋田支部全体会	北秋田市
..... 今後の行事予定		
4月26日	平成25年度秋田県土地改良事業団体連合会雄勝支部全体会	湯沢市
4月30日	平成25年度秋田県土地改良事業団体連合会鹿角支部全体会	鹿角市
5月2日	平成25年度秋田県土地改良事業団体連合会由利支部全体会	由利本荘市
5月8日	平成25年度秋田県土地改良事業団体連合会仙北支部全体会	大仙市
5月14日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会総会 ~15日	青森県
9月11日	第36回全国土地改良大会北海道大会	札幌市「道立総合体育センター」

「あきた体験農園」平成25年度会員募集

収穫の喜びを共有してくれる仲間(会員)を募集!!

耕作放棄地の再生から生まれるしあわせ…

私たちは、都市近郊の耕作放棄地再生を通じて、農地環境の改善・都市住民の食に対する信頼感の充足・農業体験活動の提供を行うことを目的に、「あきた農業体験施設(市民農園・教育ファーム)運営会議(代表幹事 黒崎一紀、略称「あきた体験農園」)を立上げ、活動しています。

平成22年度に開設した秋田市仁井田地区の「あきた体験農園」は、20年以上も管理されていない耕作放棄地となっていた場所で、現在は、枝豆、じゃがいも、サツマイモ、大根、白菜等、たくさんの野菜が収穫されるまでになりました。

農業に興味のある方、美味しいものを食べるのが好きな方、子供に農業を一から体験させてみたい方、泥んこになるのが好きな方…。私たちと、収穫の喜びを共有しませんか!!

「あきた体験農園」では、趣旨に賛同し、一緒に汗を流してくれる仲間(会員)を募集しています。



「暮らしの中で、もっとこうだったらいいな…」自分自身の新しい発見や取り組み(プラス1)を実践してみませんか。

- 1号会員・・・共同作業に参加する会員(収穫物の権利あり) 年会費2,000円
毎月1～2回/1時間程度、会員で共同作業をします。
- 2号会員・・・個別に家庭菜園を行う会員 年会費3,000円
1区画(50㎡)の土地のオーナーになり家庭菜園を行えます。
- 賛助会員・・・共同運営農園の収穫物の権利を持ち、イベント等への提供を受ける会員
(法人・組合等の各種団体) 年会費5,000円
※学校・幼稚園・子供会等については、1団体3,000円(収穫物の権利あり)

申込期限 平成25年5月31日(金) 定員になり次第に締切とします。

申込先 【あきた農業体験施設運営会議・事務局】 水土里ネット秋田総務企画部
鈴木一秋・高橋康信まで TEL.018-888-2712 FAX.018-888-2834

野山の花 サクラ(桜)



春、白色・淡紅色で一重・八重・菊咲きなどの花を多数咲かせるバラ科サクラ属の落葉高木。日本の山野にはヤマザクラなど約10種類を基本に固有種・交配種を含め600種以上の品種が確認されている。桜は穀物の神が宿るとも、稲作神事に関連していたともされ、農業にとり昔から非常に大切なものであった。

【花言葉：優美な女性、精神的な美】

編集後記

◆ 自転車での通勤途中に向かいから吹いてくる風が、日に日に温かく感じる今日この頃。皆さんいかがお過ごしでしょうか。初めまして! 4月に広報・渉外班に配属となりました、美郷町六郷出身の寺山です。今回の号から、地域情報を増やしております。管外の事情を会員同士が互いに共有し、より良い地域活動に繋がればと思っております。また、水土里ネット女性職員の視点も取り入れ、シリーズで連載をスタート致しましたので、こちらもご期待下さい。お気づきかとは思いますが、表紙もリニューアル致しました。皆さんの知りたい情報を適確に判断し、誌面内容向上に努めたいと思います。もうすぐ桜も満開になりますね。秋田市で迎える初めての花見シーズンに備え、千秋公園の周りをウォーキングして絶景ポイントを見つけたいなど思っております。おすすめポイントがある方は、是非花が散る前に教えて下さい! (広報・渉外班◆寺山記)



●発行所 秋田県土地改良事業団体連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号
TEL 018-888-2750(代) FAX 018-888-2834
http://www.akita-midori.net/



【表紙写真】 第11回写真コンクール入賞作品「咲いた! 咲いた! ~初心者ファーマーの挑戦」